

2025 年 11 月 12 日

沖縄県平和啓発シンポジウム

「戦後 100 年へ残す平和への“想い(うむい)”」を開催します！

東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田康二）は、2025 年 6 月より沖縄県から「沖縄平和啓発プロモーション事業」を受託しています。この度、その事業の一環として、11 月 24 日（月・祝）に神田明神ホール(東京)にて、沖縄県平和啓発シンポジウム「戦後 100 年へ残す平和への“想い(うむい)”」を開催しますので、お知らせいたします。

このシンポジウムは、沖縄戦の実践や教訓を次世代に継承するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に発信し、より多くの人々に深く理解してもらうことを目的としています。

2025 年は戦後から 80 年にあたり、沖縄県では戦後 80 周年平和祈念事業として 40 の事業を実施しています。戦争体験者がいなくなる未来を見据え、沖縄が受け継いできた平和への想い（うむい）を、舞台・対話・音楽を通して感じ、次の世代へどう伝えていくかを一緒に考える場をご提供いたします。

シンポジウムの開催理念、方向性、目指す姿はつぎのとおりですが、詳細は次ページ以降をご参照ください。

【理念】

沖縄が受け継いできた「平和への想い（うむい）」を現代に生かし、戦争体験の風化を防ぎながら、次世代に平和の尊さを伝える文化事業を推進します。

【活動の方向性】

舞台芸術、音楽、対話を通じて、人々が「過去と未来をつなぐ場」を創出します。
地域・世代・文化を超えて平和のメッセージを共有し、共感の輪を広げていきます。

【目指す姿】

平和を「語り継ぐ」だけでなく、「感じ、考え、行動する」文化を社会に根づかせていきます。
沖縄から世界へ、平和の想いを発信し続ける企業・団体を目指します。

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215

<https://www.tobutoptours.co.jp/>
TOBU TOP TOURS CO.,LTD.

イベント概要

日程：2025 年 11 月 24 日（月）

時間：15:00-18:00(開場 14:30)

場所：神田明神ホール（〒101-0021 東京都千代田区外神田 2 丁目 16-2）

料金：入場無料

定員：先着 300 名（申込必須）

イベント詳細

■第一部 沖縄の想いをカタチに「YUNTAKU STAGE」

①沖縄戦と平和劇

宜野湾市在住 大城さん（沖縄戦当時 11 歳）の証言を元に創作され、沖縄南部のガマ（自然壕）で起きた出来事を脚色したストーリーを沖縄の若い役者が演じます。

②パネルディスカッション

「あなたは、次世代に向け、平和への想いをどう伝えていきますか？」

映画・舞台・資料館など平和への想いをカタチとして表現し、継承する活動を行っている方々をゲストとして招き「平和を希求する沖縄のこころ」の表現方法や継承方法について、参加者と共に意見を交わし、考えていきます。

ゲスト「沖縄県知事 玉城デニー氏」「映画監督 平一紘 氏」「演劇製作者：永田健作 氏」「平和ガイド：大田光 氏」

■ 第二部：沖縄の想い届け！「UMUI STAGE」

沖縄出身アーティスト「MONGOL800 のキヨサク氏」が立ち上げた「詩い継ぐ沖縄慰霊の日プロジェクト」とのコラボ企画。トークセッションにて、プロジェクト設立の背景や音楽での表現方法についてお話いただきます。

ukulele gypsy キヨサク from mongol800 として楽曲披露もあり！音楽を通し会場全体で平和への想いを広げるステージに！

■スペシャル企画：戦後 100 年のあなたへ！戦後 80 年の私から伝える PEACE LETTER

20 年後の戦後 100 年の未来へ向けて今の想いを記し PEACE LETTER として届けましょう！

記入した PEACE LETTER は Instagram@ PEACE LETTER にて投稿し、戦後 100 年まで残し続けます。

戦後の世であり続けるために、あなたの想いを戦後 100 年へ届けませんか？

参加申込ページ

<https://okinawa-no-kokoro.peatix.com/>

〈お問い合わせ〉

令和 7 年度沖縄平和啓発プロモーション事業 運営事務局

heiwa80pr@tobuoptours.co.jp

TEL：050-3490-2201

戦後80年の今、

みんなで考えよう。

戦後100年へ残す

平和への想い

うむ

沖縄戦、終戦から80年。

戦争体験者がいなくなる未来を生きる私たち「体験者の声を聞ける」体験者の顔を見られる「最後の世代として、その記憶をどのように受け取り、未来へつないでいるのか。沖縄が受け継いできた平和への想い（うむい）を、舞台・対話・音楽を通して感じ、戦後100年、これからを見つめながら、一緒に「残したいこと」「伝えたいこと」を考えてみませんか？

Discussion
& Live!パネルディスカッション
& 音楽ライブあり!入場
無料

2025.11.24 Mon [祝日]
15:00 - 18:00 (開場 14:30)

会場 神田明神ホール

〒101-0021 東京都千代田区外神田2丁目16-2

JR御茶ノ水駅 徒歩5分 / 秋葉原駅 徒歩7分 / 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩5分
会場には専用駐車場はございません。できるだけ公共交通機関でのご来場をお願いいたします。



沖縄県知事
玉城 デニー



映画監督
平 一祐



演劇製作者
永田 健作



一中戦没学徒資料室解説員
大田 光



UKULELE GYPSY
キヨサク
from MONGOL800

- 【第1部】YUNTAKU STAGE 沖縄戦と平和劇 + パネルディスカッション
【第2部】UMUI STAGE キヨサク氏 (MONGOL800) トーク&ライブ
【特別企画】PEACE LETTER 未来へ想いを届ける参加型プロジェクト

ご参加をご希望の方は、事前にPeatix特設
ページよりお申し込みください。

<https://okinawa-no-kokoro.peatix.com>





戦後100年へ残す平和への想い

戦争体験者がいなくなる未来を生きる私たち。「体験者の声を聞ける」「体験者の顔を見られる」

最後の世代として、その記憶をどのように受け取り、未来へつないでいけるのか。

沖縄が受け継いできた平和への想い(うむい)を、舞台・対話・音楽を通して感じ、

"戦後100年"というこれからを見つめながら、一緒に「残したいこと」「伝えたいこと」を考えてみませんか？



Program プログラム

第1部 YUNTAKU STAGE — 沖縄の想いをカタチに —

〔沖縄戦と平和劇〕

宜野湾市在住 大城さん(沖縄戦当時11歳)の証言を基に創作され、沖縄南部のガマ(自然壕)で起きた出来事を脚色したストーリーを沖縄の若い役者が演じます。沖縄県内での上演をはじめ、県外では、北海道・東京・千葉・大阪・広島・長崎で上演し、これまでの実績として67公演 / 5,000名以上の来場者を記録。目の前で繰り広げられる臨場感のあるストーリーが「文字や映像では伝わりづらい戦争体験の苦しみや悲しみを観客と共有します。」



〔パネルディスカッション〕

「あなたは、次世代に向け、平和への想いをどう伝えていきますか?」映画・舞台・資料館など平和への想いをカタチとして表現し、継承する活動を行っている方々をゲストとして招き「平和を希求する沖縄のこころ」の表現方法や継承方法について、参加者と共に意見を交わし、考えていきます。

■ゲスト：沖縄県知事 玉城 デニー 氏 / 映画監督 平一紘 氏 / 演劇製作者 永田 健作 氏 / 一中戦没学徒資料室解説員 大田 光 氏

第2部 UMUI STAGE — 沖縄の想いよ届け! —

〔トーク&ライブ〕

沖縄出身アーティスト「MONGOL800のキヨサク氏」が立ち上げた「詩い継ぐ沖縄慰霊の日プロジェクト」とのコラボ企画。トークセッションにて、プロジェクト設立の背景や音楽での表現方法についてお話をいただきます。

UKULELE GYPSY キヨサク from MONGOL800として楽曲披露もあり! 音楽を通し会場全体で平和への想いを広げるステージに!

特別企画

未来へ想いを届ける参加型プロジェクト



PEACE LETTER



戦後100年のあなたへ
戦後80年の私から
伝えよう

20年後の戦後100年の未来へ向けて今の想いを記しPEACE LETTERとして届けましょう! 記入したPEACE LETTERはInstagram@ PEACE LETTERにて投稿し、戦後100年まで残し続けます。戦後の世であり続けるために、あなたの想いを戦後100年へ届けませんか?

Guests 登壇ゲスト

パネルディスカッション



沖縄県知事 玉城 デニー (たまき デニー)

1959年沖縄県うるま市出身。上智社会福祉専門学校卒業後、中部地区老人福祉センター職員やラジオパーソナリティーを経て、2002年より沖縄市議会議員1期、2009年より衆議院議員4期を務め、2008年9月に沖縄県知事就任し現在2期目を務めている。



映画監督 平一紘 (たいら かずひろ)

1989年8月29日生まれ、沖縄県沖縄市出身。桐谷健太主演『ミラクルシティコザ』で監督デビュー。堤真一、山田裕貴主演の最新作『木の上の軍隊』では第17回TAMA映画賞にて最優秀新進監督賞を受賞した。



演劇製作者 永田 健作 (ながた けんさく)

1981年生まれ。沖縄出身、在住。体験者の証言を基に制作した平和劇を2021年から開始。沖縄、広島、長崎、東京、大阪、北海道など、これまでに67公演を開催。



一中戦没学徒資料室解説員 大田 光 (おおた ひかり)

1989年大阪府生まれ、沖縄県在住。沖縄へ移住し、一中戦没学徒資料室の解説員に。現在、琉球大学大学院に在学。沖縄戦の男子学徒隊について、体験者への聞き取りや講話・ガイド等継承活動にも取り組む。

トーク&ライブ



UKULELE GYPSY キヨサク
from MONGOL800

MONGOL800のVo&BASS、作詞・曲を担当。ソロ活動では他アーティストとのコラボレーションや楽曲提供、プロデュースなども手掛け、2013年より「UKULELE GYPSY」として日本各地を旅しながら、絆にとらわれない柔軟なスタンスで、さらなる音楽活動に広がりを見せている。

